

介護ステーション ぶらんち ニュースレター Vol. 112

令和8年4月号

絆が大切な時代！

最近、また、痛ましい事件がありました。
京都 南丹市の11歳の男子が父親に殺害された事件。
殺害の動機等はまだ明らかにされていません。
あくまでも、私の想像ですが、
今、自分の意に沿わないと簡単に人を殺めてしまう。
自分の心、意を伝えて、折り合い点を見出すことを
しようとしな。い。
殺めるまでに至らなくても、
目の前の人、事を無くしてしまう方法を取る、選択する時代のような気がしています。
なぜそこに、対話をし、交渉をしないのだろうか。
会話ではなく対話は、確かに、お互いを理解しあうことなので、
時間を要したり、時にはぶつかり合ったりし、
お互いの感情が穏やかではない時間・瞬間もある。
しかし、その対話なくして、信頼関係を築くことはない。
対話を重ねての信頼関係は、自分の財産になる、と
私は考えている人間です。
それは、ただ生きていくのではなく、自分らしく生きていく土台になる。
そんな、絆を作り、深めていく、オープンな対話(オープンダイアログ)が
日常にある環境が増えていってほしい、と願います。



介護業界を盛り上げよう！！

東京都の借り上げ制度の港区版ができました！
東京都のこの制度の目的は
本事業は、都内に所在する介護保険サービスを提供する
民間の事業所等に対して、介護職員の宿舍の借り上げを
支援し、住宅費負担を軽減することで、
介護職員の働きやすい職場環境を実現し
介護人材の確保定着を図ること、
また、事業所による防災の取組を計画的に進め、
地域の災害福祉拠点として災害時の迅速な対応を推進する
こと
とてもいい制度で、弊社も活用させていただいています。
が、ここでの課題があります。
施設系は比較的、社宅件数が優遇されているのですが、
訪問系は事業所の数によって制限が設けられています。
もし、本来の目的を全うするのであれば、
事業所の数ではなく、事業所が抱えている利用者様の数に
連動すべき。利用者様の数によって、抱える職員の数
が決まりますから。
そこで、港区議員さんに、
港区版を創っていただけませんか！
と訴えて参りました。
それが、令和8年度に実現されます。
港区版の詳細はこれから発表になるかと思えます。
また、こちらで、報告させていただきます。

ぶらんちの今を紹介

ぶらんちの事業「ユアライト事業」の続報！

1:シニア食堂について
「井戸端カフェ」というネーミングにしました。
港区社会福祉協議会とコラボします。
第1回目の開催が決定！！

6月25日(木曜日) 麻布いきいきプラザ
12:00~
麻布の名店のお弁当を食べながら
参加費 500円
定員 20名
☆カフェTimeもあります
皆様、ぜひ、足を運んでください。
場所やひとりで行くが不安な方は
弊社スタッフに相談してください。

2:「井戸端カフェ」のサロンができるかも・・・
弊社の利用者様が、ご自宅の一部を開
放して下さる、ということで、
今、港区社会福祉協議会と相談しながら
運営方法等を相談しています。